



# 2007年度 中間決算 及び 通期業績見通しについて

2007年11月1日



# 報告事項

1.2007年度の概要

2.質疑応答



# 2007年度 業績見通し

(単位:億円)

	7月公表①		今回見通し②		差異②-①		10月公表	
	上期	年度	上期 実績	年度	上期	年度	上期	年度
売上高	10,200	20,800	10,346	21,500	146	700	10,400	21,500
営業利益	800	1,830	957	1,950	157	120	950	1,950
経常利益	600	1,400	759	1,500	159	100	750	1,500
特別損益	0	0	0	0	0	0	0	0
当期利益	350	850	470	900	120	50	440	900



ECOWAY

# 2007年度)セグメント別営業利益

(単位:億円)

	7月公表 ①		今回見通し ②		差異 ②-①	
	上期	年度	上期実績	年度	上期	年度
鉄鋼関連事業	340	850	401	880	61	30
電力卸供給関連事業	80	180	81	180	1	0
アルミ・銅関連事業	120	210	140	220	20	10
機械関連事業	90	220	125	260	35	40
建設機械関連事業	110	220	130	240	20	20
不動産関連事業	10	40	19	45	9	5
電子材料その他	30	70	36	80	6	10
消 去	20	40	21	45	1	5
合 計	800	1,830	957	1,950	157	120



# セグメントの概況①【鉄鋼】

(単位:億円)

	2007年度 7月公表①		2007年度 今回見通し②		差異 ②-①	
	上期	年度	上期実績	年度	上期	年度
売上高	4,400	9,050	4,436	9,300	36	250
営業利益	340	850	401	880	61	30

鋼材需要 : 自動車、造船など国内製造業向けが好調を持続

鋼材価格 : 販売価格の値上げが順次浸透

コスト : 海上運賃、一部の金属類が高騰



EcoWay

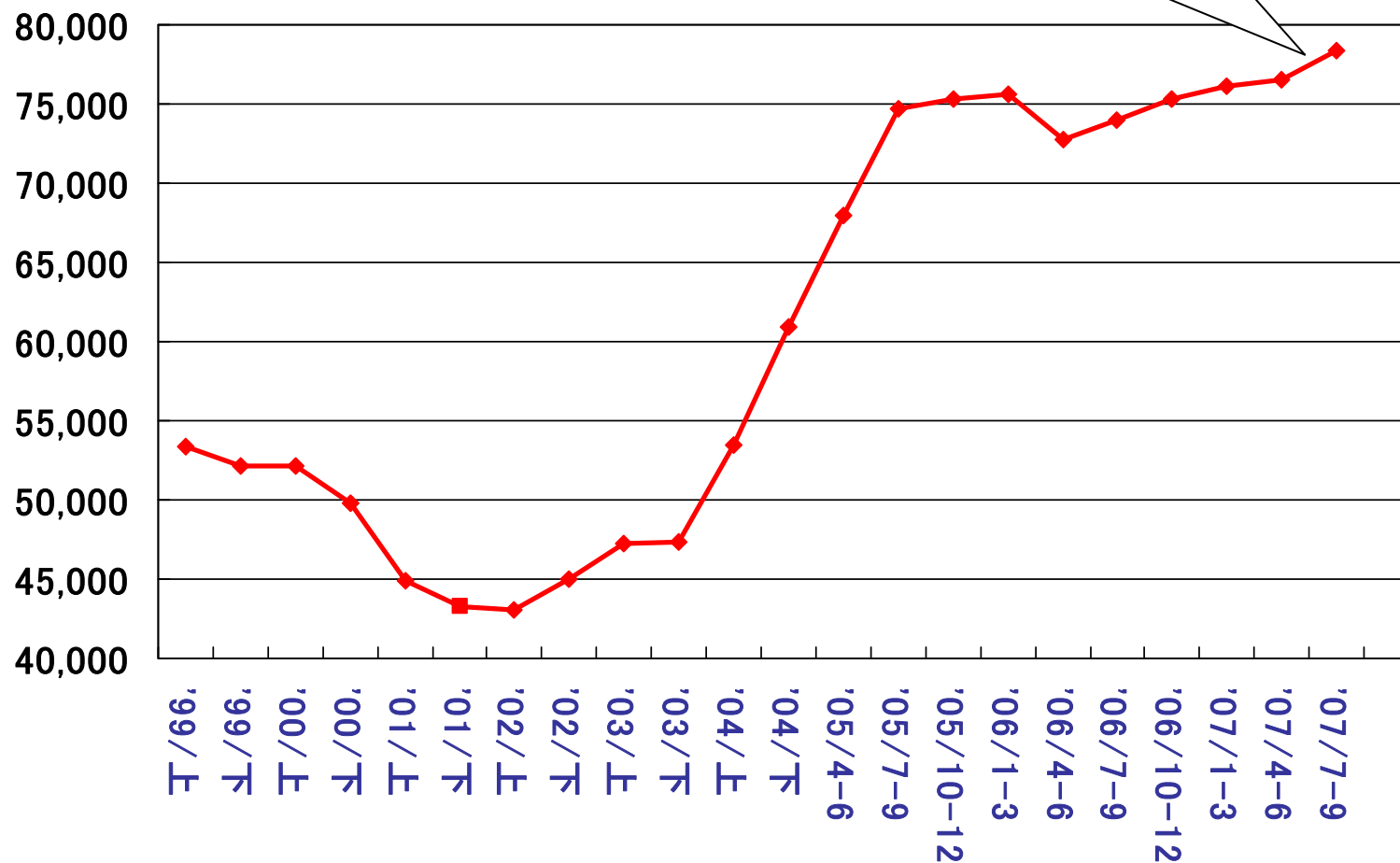
## 当社の生産・販売状況

	2006年度 実績			2007年度 実績 上期
	上期	下期	年度	
全国粗鋼 (万 t)	5,805	5,969	11,775	5,976
全国在庫水準 (万 t)	536	537	-	(9月末) 563
薄板3品在庫水準 (万台)	406	403	-	(9月末) 420
国内自動車生産台数 (万台)	553	597	1,150	(4-9月) 548
<b>&lt; 当社 &gt;</b>				
粗鋼生産 (万 t)	380	403	783	410
鋼材販売量 (万 t)	324	334	658	335
(内 国内)	(257)	(265)	(522)	(264)
(内 輸出)	(67)	(69)	(135)	(71)
鋼材販売単価 (円 / t)	73,400	75,600	74,500	77,400
鋼材輸出比率 (金額 <sup>^</sup> -λ)	22.5%	23.0%	22.8%	23.8%
(数量 <sup>^</sup> -λ)	20.6%	20.5%	20.6%	21.3%

# 鋼材単価の推移

対' 06下比1,800円/t  
 (' 06下平均75,600円/t  
 ⇒' 07上平均77,400円/t)

(単位:円/t)





## セグメントの概況②【電力卸供給】

(単位:億円)

	2007年度 7月公表①		2007年度 今回見通し②		差異 ②-①	
	上期	年度	上期実績	年度	上期	年度
売上高	350	700	341	700	△9	0
営業利益	80	180	81	180	1	0

計画通りに進捗





## セグメントの概況③【アルミ・銅】

(単位:億円)

	2007年 7月公表①		2007年度 今回見通し②		差異 ②-①	
	上期	年度	上期実績	年度	上期	年度
売上高	2,250	4,350	2,328	4,550	78	200
営業利益① (在庫評価影響除く)	95	190	95	175	0	△15
(在庫評価影響)	(25)	(20)	(45)	(45)	(20)	(25)
営業利益② (在庫評価影響含む)	120	210	140	220	20	10

需要環境 : IT・半導体関連分野の需要調整が長期化

在庫評価 : 上期 銅地金の高騰により拡大

下期 ゼロと想定(価格横ばい)



## 需要動向と当社販売状況

摘 要	' 0 6 年度実績		' 0 7 年度見通し	
	上期	年度	上期実績	年度
軽圧品需要(千トン)	1,183	2,377	1,212	2,408
アルミ板	678	1,354	705	1,382
アルミ押出	505	1,023	507	1,026
内 缶材(国内)	228	426	236	423
伸銅品需要(千トン)	329	666	328	667
板 条	239	486	242	495
銅 管	90	180	86	172
エアコン内需(万台)		753		720
<b>&lt;当社の販売状況&gt;</b>				
アルミ圧延品国内(千トン)	140	278	147	281
輸出(千トン)	24	51	30	59
銅板条(千トン)	32	66	33	68
銅 管(千トン)	43	81	41	80



## セグメントの概況④【機械】

(単位:億円)

	2007年度 7月公表①		2007年度 今回見通し②		差異	②-①	
	上期	年度	上期実績	年度		上期	年度
売上高	1,350	3,000	1,330	3,000	△20		0
営業利益	90	220	125	260	35		40
受注高	1,980	2,830 <sup>(当初計画)</sup>	2,023	3,300	43		470

機械・エンジニアリング : 石油化学、エネルギー関連需要が引き続き高水準

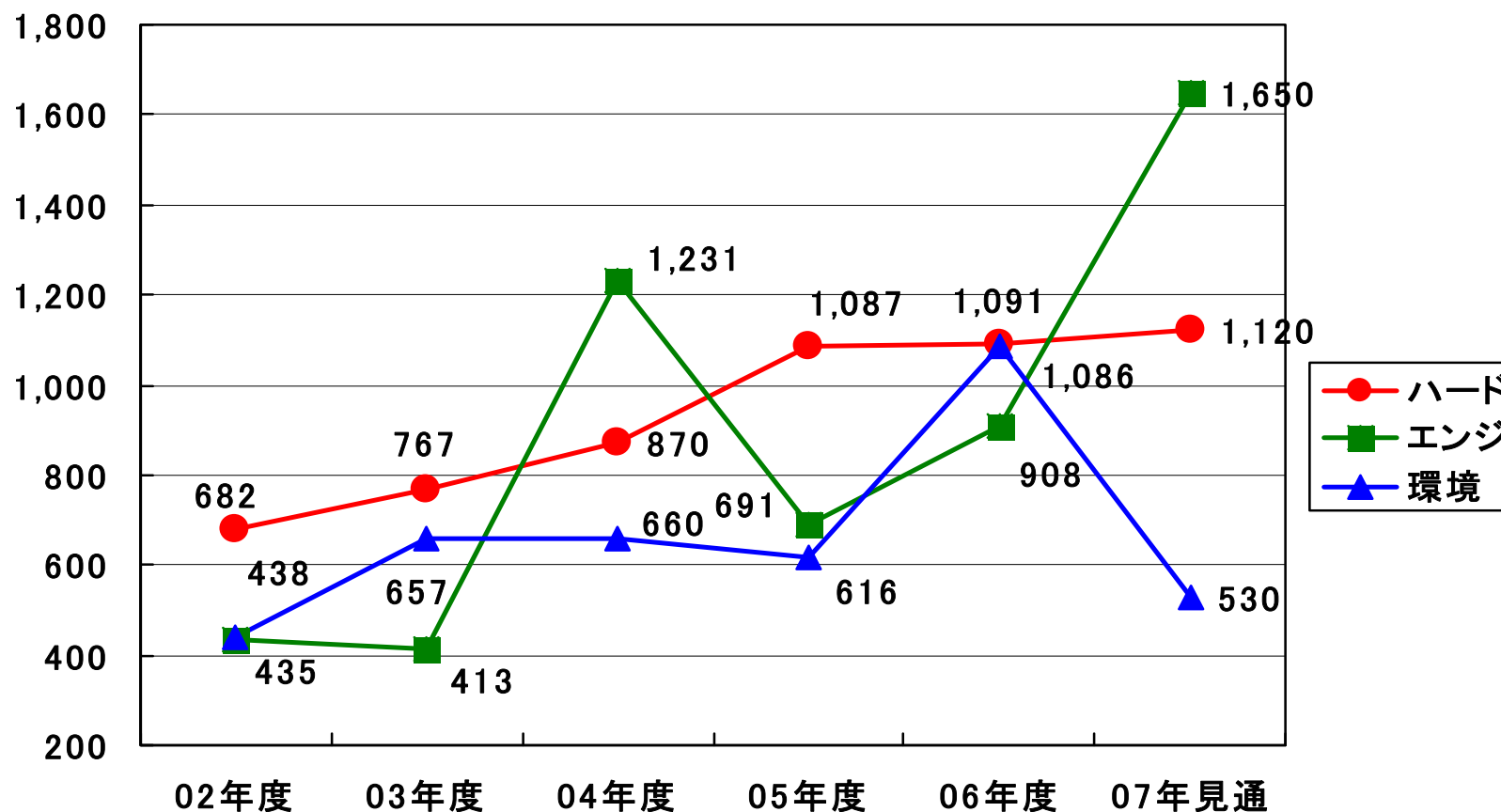
製鉄プラント : 当初計画の大型案件は上期に受注済み

石炭ベースの新製鉄プラント(ITmk3)の商業1号機の受注に注力

環 境 : 公共案件は厳しい需要環境が継続

# 機械 受注高推移

(単位: 億円)



機械Total	1,555	1,837	2,761	2,394	3,086	3,300
---------	-------	-------	-------	-------	-------	-------



## セグメントの概況⑤【建設機械】

(単位:億円)

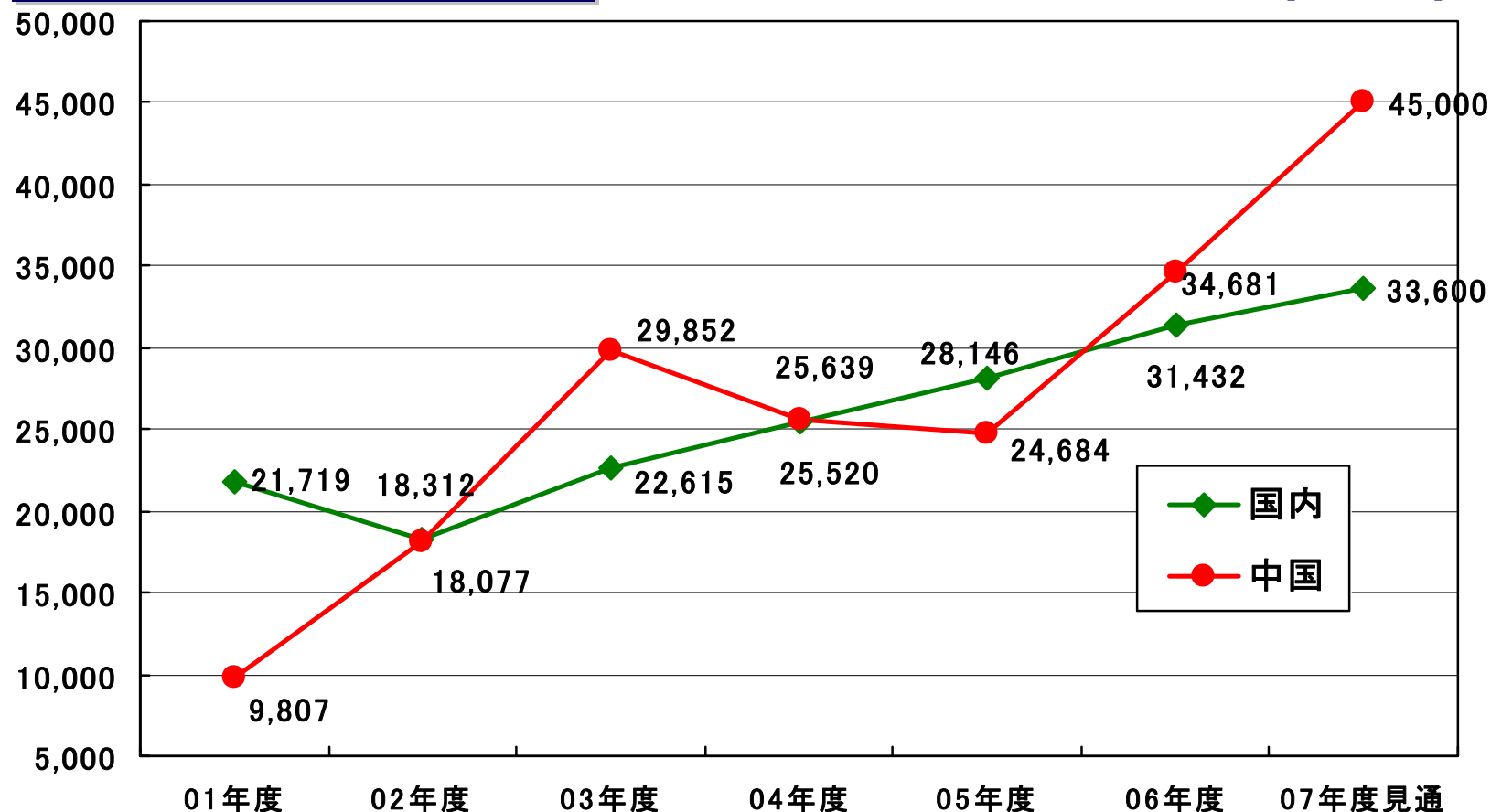
	2007年 7月公表①		2007年度 今回見通し②		差異	②-①	
	上期	年度	上期実績	年度		上期	年度
売上高	1,650	3,250	1,748	3,350	98	100	
営業利益	110	220	130	240	20	20	

需要環境 : (ショベル) 中国を中心に全世界的に拡大  
(クレーン) 中東を中心に高水準を維持

生産・調達 : 現有能力一杯の生産を継続  
諸資材、調達部品の需給逼迫に伴いコスト負担が増加

# ショベル需要動向

(単位:台)



06年度実績

07年度見通し

(\* 中国は1-12月)

	上期	年度	上期実績	下期	年度
国内	15,190	31,432	16,800	16,800	33,600
中国	22,209	34,681	30,274	14,726	45,000



## セグメントの概況⑥【不動産】

(単位:億円)

	2007年度 7月公表①		2007年度 今回見通し②		差異 ②-①	
	上期	年度	上期実績	年度	上期	年度
売上高	200	450	178	450	△22	0
営業利益	10	40	19	45	9	5

計画通りに進捗



## セグメントの概況⑦【電子材料その他】

(単位:億円)

	2007年 7月公表①		2007年度 今回見通し②		差異 ②-①	
	上期	年度	上期実績	年度	上期	年度
売上高	250	550	277	600	27	50
営業利益	30	70	36	80	6	10

(ターゲット材)

需 要 : 液晶パネル需要が回復、但し面積当り価格は下落基調が継続

販 売 : 代替材への切り替えが進むと想定

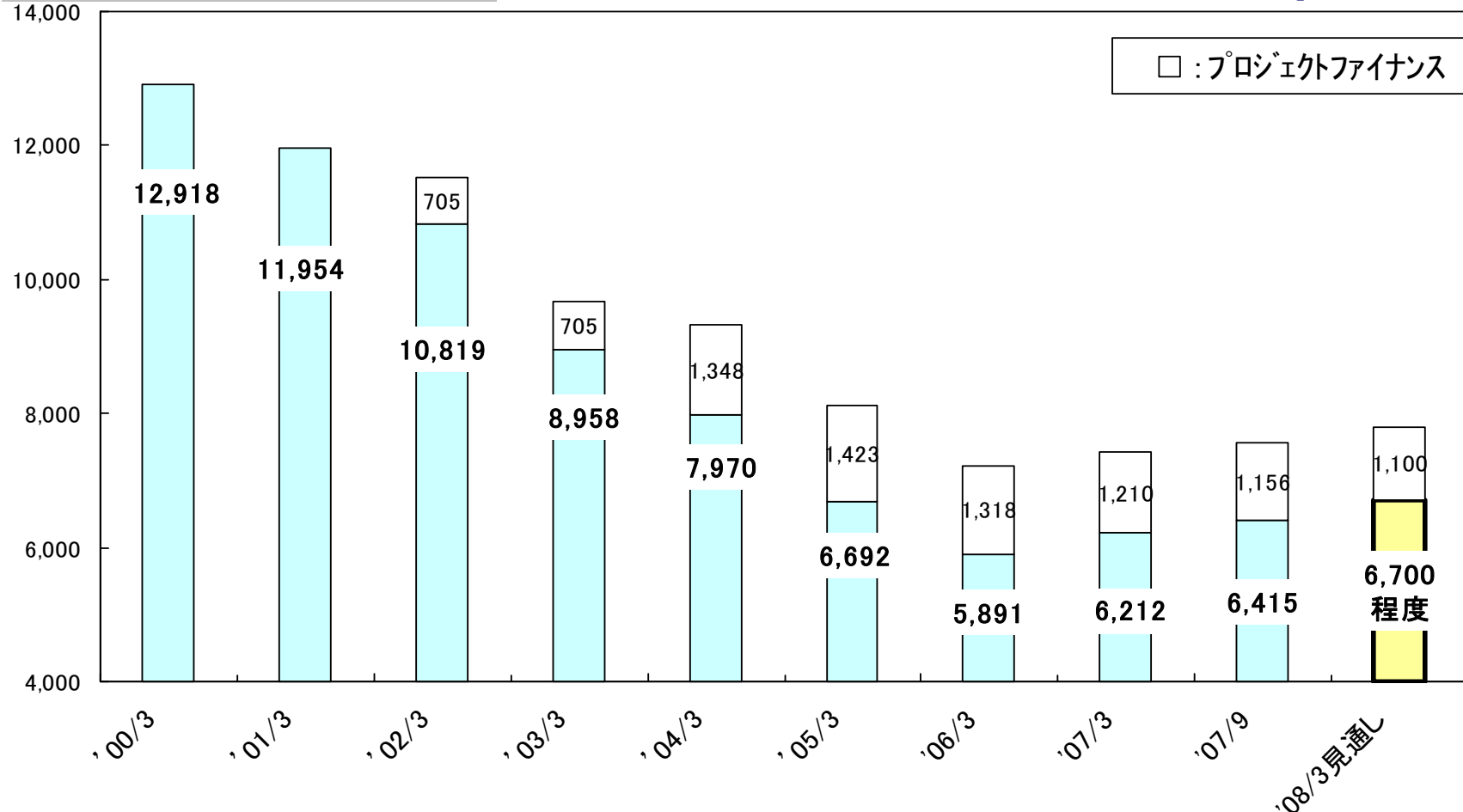




ECO WAY

# 外部負債残高

(単位:億円)



	06年度末 実績	07年上期末 実績	07年度末 見通し
D/Eレシオ	1.19倍	1.19倍	1.17倍

# 株主資本の状況

(単位:億円)

	'06年度 末	07年度 上期末	07年度末 見通し
資本金	2,333	2,333	} 5,710程度
資本剰余金	832	832	
利益剰余金	2,391	2,739	
自己株式	△315	△517	
株主資本 合計	5,242	5,388	



(ご参考)



# 2007年度上期実績



# 2007年度 上期実績

(単位:億円)

	2006年度 上期	2007年度上期		差異		10月公表
	①	7月公表 ②	実績 ③	前年比 ③-①	7月公表 比 ③-②	
売上高	8,988	10,200	10,346	1,358	146	10,400
営業利益	988	800	957	△31	157	950
経常利益	873	600	759	△114	159	750
特別損益	0	0	0	0	0	0
当期利益	515	350	470	△45	120	440



# 上期)セグメント別売上高

(単位:億円)

	06年度	07年度上期		差異		10月 公表
	上期 実績 ①	7月 公表 ②	実績 ③	前年 比 ③-①	7月公表 比 ③-②	
鉄鋼関連事業	3,971	4,400	4,436	465	36	4,460
電力卸供給関連事業	343	350	341	△2	△9	340
アルミ・銅関連事業	1,924	2,250	2,328	404	78	2,310
機械関連事業	1,194	1,350	1,330	136	△20	1,350
建設機械関連事業	1,330	1,650	1,748	418	98	1,700
不動産関連事業	189	200	178	△11	△22	170
電子材料その他	305	250	277	△28	27	290
消去	△270	△250	△295	△25	△45	△220
合 計	8,988	10,200	10,346	1,358	146	10,400



# 上期)セグメント別営業利益

(単位:億円)

	06年度	07年度上期		差異		10月 公表
	上期 実績 ①	7月 公表 ②	実績 ③	前年 比 ③-①	7月公表 比 ③-②	
鉄鋼関連事業	454	340	401	△53	61	401
電力卸供給関連事業	93	80	81	△12	1	81
アルミ・銅関連事業	180	120	140	△40	20	140
機械関連事業	55	90	125	70	35	125
建設機械関連事業	69	110	130	61	20	130
不動産関連事業	27	10	19	△8	9	19
電子材料その他	82	30	36	△46	6	36
消去	24	20	21	△3	1	21
合 計	988	800	957	△31	157	957



# 全社経常利益差異【07上期 7月公表⇒実績】

(単位:億円)

	2007年度7月公表			2007年度今回		
	上期	下期	計	上期	下期	計
経常利益	600	800	1,400	759	741	1,500
				+159		

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+ 20	設備保全等	△ 5
原料価格	+ 10	その他	△ 1
コストダウン	+ 10		
固定費減	+ 10		
Alミ銅在庫評価影響	+ 20		
連結子会社・持分法	+ 95		
合計	+ 165	合計	△ 6





# 鉄鋼)営業利益差異内訳【07上期 7月公表⇒実績】

(単位:億円)

	2007年度7月公表			2007年度今回		
	上期	下期	計	上期	下期	年度
営業利益	340	510	850	401	479	880
				+61		

増益要因		減益要因	
鋼材生産・出荷	+ 10	設備保全等	△ 5
原料価格	+ 10		
その他	+ 46		
合計	+ 66	合計	△ 5

# 全社経常利益差異内訳【06上期⇒07上期】

(単位:億円)

	2006年度実績			2007年度見通し		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	873	959	1,832	759	741	1,500
				△114		

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+ 230	原料価格	△ 65
コストダウン	+ 55	固定費増	△ 85
連結子会社・持分法	+ 15	設備保全等	△ 30
		高炉改修影響	△ 5
		アルミ銅在庫評価影響	△ 35
		減価償却方法変更	△ 70
		その他	△124
合計	+ 300	合計	△ 414

# 鉄鋼)営業利益差異内訳【06上期⇒07上期】

(単位:億円)

	2006年度実績			2007年度見通し		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
営業利益	454	491	945	401	479	880
		└───┬───┘ $\Delta 53$				

増益要因		減益要因	
鋼材生産・出荷	+ 140	原料価格	$\Delta$ 65
コストダウン	+ 30	固定費増	$\Delta$ 35
		高炉改修影響	$\Delta$ 5
		設備保全等	$\Delta$ 30
		減価償却方法変更	$\Delta$ 55
		為替影響	$\Delta$ 20
		その他	$\Delta$ 13
合計	+ 170	合計	$\Delta$ 223

# 全社経常利益差異内訳【06下期⇒07上期】

(単位:億円)

	2006年度実績			2007年度見通し		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	873	959	1,832	759	741	1,500



  
 $\Delta 200$

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+ 40	原料価格	$\Delta$ 75
コストダウン	+ 35	固定費増	$\Delta$ 55
設備保全等	+ 60	高炉改修影響	$\Delta$ 5
連結子会社・持分法	+ 15	アルミ銅在庫評価影響	$\Delta$ 25
		減価償却方法変更	$\Delta$ 70
		その他	$\Delta$ 120
合計	+150	合計	$\Delta$ 350

# 鉄鋼)営業利益差異内訳【06下期⇒07上期】

(単位:億円)

	2006年度実績			2007年度見通し		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
営業利益	454	491	945	401	479	880


  
 $\Delta 90$

増益要因		減益要因	
鋼材生産出荷	+ 50	原料価格	$\Delta$ 75
コストダウン	+ 10	固定費増	$\Delta$ 15
設備保全等	+ 60	高炉改修影響	$\Delta$ 5
		減価償却方法変更	$\Delta$ 55
		為替影響	$\Delta$ 15
		その他	$\Delta$ 45
合計	+120	合計	$\Delta$ 210



# 2007年度見通し



# 2007年度 業績見通し

(単位:億円)

	2006年度 実績	2007年度見通し		差異		10月公表
	①	7月公表 ②	今回 ③	前年比 ③-①	7月公表 比 ③-②	
売上高	19,102	20,800	21,500	2,398	700	21,500
営業利益	2,086	1,830	1,950	△136	120	1,950
経常利益	1,832	1,400	1,500	△332	100	1,500
特別損益	△79	0	0	79	0	0
当期利益	1,096	850	900	△196	50	900



# 2007年度)セグメント別売上高

(単位:億円)

	06年度	07年度見通し		差異		10月 公表
	実績	7月 公表	今回	前年 比	7月公表 比	
	①	②	③	③-①	③-②	
鉄鋼関連事業	8,306	9,050	9,300	994	250	9,300
電力卸供給関連事業	668	700	700	32	0	700
アルミ・銅関連事業	3,973	4,350	4,550	577	200	4,550
機械関連事業	2,809	3,000	3,000	191	0	3,000
建設機械関連事業	2,853	3,250	3,350	497	100	3,350
不動産関連事業	413	450	450	37	0	450
電子材料その他	635	550	600	△35	50	600
消去	△558	△550	△450	108	100	△450
合 計	19,102	20,800	21,500	2,398	700	21,500





# 2007年度)セグメント別営業利益

(単位:億円)

	06年度	07年度見通し		差異		10月 公表
	実績	7月 公表	今回	前年 比	7月公表 比	
	①	②	③	③-①	③-②	
鉄鋼関連事業	945	850	880	△65	30	870
電力卸供給関連事業	180	180	180	0	0	180
アルミ・銅関連事業	346	210	220	△126	10	230
機械関連事業	221	220	260	39	40	260
建設機械関連事業	148	220	240	92	20	240
不動産関連事業	53	40	45	△8	5	45
電子材料その他	143	70	80	△63	10	80
消去	47	40	45	△2	5	45
合 計	2,086	1,830	1,950	△136	120	1,950

# 全社経常利益差異内訳【07年度7月公表⇒今回】

(単位:億円)

	2007年度7月公表			2007年度今回		
	上期	下期	計	上期	下期	計
経常利益	600	800	1,400	759	741	1,500
				+100		

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+ 70	原料価格	△ 70
コストダウン	+ 10	その他	△ 65
固定費減	+ 20		
設備保全等	+ 5		
アルミ銅在庫評価影響	+ 25		
連結子会社・持分法	+105		
合計	+ 235	合計	△ 135

# 鉄鋼)営業利益差異内訳【07年度7月公表⇒今回】

(単位:億円)

	2007年度前回			2007年度今回		
	上期	下期	計	上期	下期	計
営業利益	340	510	850	401	479	880
						+30

増益要因		減益要因	
鋼材生産・出荷	+ 55	原料価格	△ 70
固定費減	+ 10	為替影響	△ 25
設備保全等	+ 5		
その他	+ 55		
合計	+ 125	合計	△ 95

# 全社経常利益差異内訳 【07年度上期⇒下期】

(単位:億円)

	2006年度実績			2007年度見通し		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	873	959	1,832	759	741	1,500
				$\downarrow \Delta 18 \uparrow$		

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+ 70	原料価格	△ 50
コストダウン	+ 40	固定費増	△ 45
設備保全等	+ 40	高炉改修影響	△ 50
連結子会社・持分法	+ 20	アルミ銅在庫評価影響	△ 45
その他	+ 12	減価償却方法変更	△ 10
合計	+182	合計	△200



# 鉄鋼)営業利益差異内訳【07年度上期⇒下期】

(単位:億円)

	2006年度実績			2007年度見通し		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
営業利益	340	510	850	401	479	880
				└ +78 ─┐		

増益要因		減益要因	
鋼材生産・出荷	+ 65	原料価格	△50
コストダウン	+ 40	固定費増	△30
設備保全等	+ 40	高炉改修影響	△20
その他	+ 43	減価償却方法変更	△ 5
		為替影響	△ 5
合計	+188	合計	△110

# 全社経常利益差異内訳 【06年度⇒07年度】

	2006年度実績			2007年度見通し (単位:億円)		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	873	959	1,832	759	741	1,500
				△332		

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+ 310	原料価格	△190
コストダウン	+120	固定費増	△175
設備保全等	+ 70	高炉改修影響	△ 60
連結子会社・持分法	+ 45	アルミ銅在庫評価影響	△105
		減価償却方法変更	△150
		その他	△197
合計	+545	合計	△877



# 鉄鋼)営業利益差異内訳 【06年度⇒07年度】

(単位:億円)

	2006年度実績			2007年度見通し		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
営業利益	454	491	945	401	479	880
				△65		

増益要因		減益要因	
鋼材生産・出荷	+225	原料価格	△190
コストダウン	+ 80	固定費増	△ 80
設備保全等	+ 70	高炉改修影響	△ 30
その他	+ 10	減価償却方法変更 為替影響	△115 △ 35
合計	+385	合計	△450

# 設備投資の状況

(単位：億円)

	2006年度 実績	2007年度 見通し	06-07 累計	中期計画 06-08累計	06-07 進捗率
設備投資<計上>	1,336	1,550	2,886	3,500	82%
対減価償却費	154%	135%	143%	124%	-
〃 (IPP除く)	1,330	1,545	2,875	3,480	83%
設備投資<支払い>	1,236	1,400	2,636	3,550	74%
対減価償却費	143%	122%	131%	126%	-
〃 (IPP除く)	1,230	1,395	2,625	3,530	74%
減価償却費	866	1,150	2,016	2,825	71%
〃 (IPP除く)	741	1,025	1,766	2,475	71%

\* 中期計画06-08累計には、環境保全・災害防止の為の追加投資を含む  
 (計上/支払い+150億円、減価償却費+25億円)



# 事業部門別設備投資

(単位:億円)

<設備投資 計上>	06年度	07年度見通し	
	実績	上期実績	年度見通し
鉄鋼	794	467	960
IPP	6	1	5
アルミ・銅	247	105	220
機械	70	56	95
建設機械	77	53	155
不動産	20	4	20
その他	122	34	95
<b>合計</b>	<b>1,336</b>	<b>720</b>	<b>1,550</b>
<減価償却費>			
鉄鋼	459	298	645
IPP	125	62	125
アルミ・銅	143	87	190
機械	54	31	65
建設機械	43	27	55
不動産	12	6	10
その他	30	17	60
<b>合計</b>	<b>866</b>	<b>528</b>	<b>1,150</b>



# 2007年度) フリーキャッシュフロー見通し

(単位: 億円)

	2006年度 年度 実績	2007年度		差異
		上期 実績	年度 見通し	対06年度
営業キャッシュフロー	1,647	660	1,120	△527
投資キャッシュフロー	△1,197	△785	△1,560	△363
フリーキャッシュフロー	450	△125	△440	△890
IPP含む フリーキャッシュフロー	442	△81	△330	△772

# 単独⇒連結 内訳

(単位：億円)

	2006年度		2007年度				差異	
	経常 損益	当期 損益	上期実績		年度見通し		対06年度	
			経常	当期	経常	当期	経常	当期
単 独 損 益	1,164	709	490	250	850	470	△ 314	△ 239
連 結								
連結子会社損益	753	331	380	194	790	400	37	69
持分法損益	140	140	65	65	120	120	△ 20	△ 20
調 配 当 金	△ 260	△ 260	△ 149	△ 149	△ 190	△ 190	70	70
整 その他	35	176	△ 27	110	△ 70	100	△ 105	△ 76
合計	668	387	269	220	650	430	△ 18	43
連 結 損 益	1,832	1,096	759	470	1,500	900	△ 332	△ 196

# ＜単独＞部門別売上高

(単位:億円)

	2006年度		2007年度		差異 ②-①
	上期	年度①	上期	年度②	
鉄鋼・溶接部門	3,409	7,083	3,797	7,900	817
アルミ・銅部門	1,450	2,930	1,667	3,300	370
機械部門	658	1,533	796	1,700	167
合 計	5,518	11,547	6,261	12,900	1,353

# ＜単独＞部門別営業利益

(単位:億円)

	2006年度		2007年度		差異 ②-①
	上期	年度①	上期	年度②	
鉄鋼・溶接部門	402	811	326	720	△91
アルミ・銅部門	132	257	100	150	△107
機械部門	24	129	99	180	51
合 計	559	1,198	525	1,050	△148

# 要員推移

(単位：人)

	2006年度		2007年度		差異 ②-①
	上期	年度①	上期	年度②	
連結要員	30,950	31,828	32,916	33,000	1,172
企画職	3,922	3,931	4,130	4,200	269
技術職	5,166	5,117	5,357	5,400	283
単独合計	9,088	9,048	9,487	9,600	552

## 将来見通しに関する注意事項

- 本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略など、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまう可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。
- 上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいます。また、要因はこれらに限定されるわけではありません。
  - 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
  - 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
  - 為替相場の変動
  - 原材料のアベイラビリティや市況
  - 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M&Aなどの事業展開
  - 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化